

2024年1月26日
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

(2024年1月)

当資料は当店ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/fukuoka/>

<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行福岡支店営業課 Tel : 092-725-5513



1. 総論

○ 九州・沖縄の景気は、着実に回復している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、回復している。公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、大幅に増加した状態が続いている。住宅投資は、弱含んでいる。輸出は、このところ増加している。

こうした中で、生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

先行きについては、海外の経済・物価動向、コスト高とその波及、労働需給などが、当地の経済・金融情勢に与える影響に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目		基調判断	
		前回	今回
景気全体		着実に回復している。	着実に回復している。
需要項目	個人消費	物価上昇の影響を受けつつも、回復している。	物価上昇の影響を受けつつも、回復している。
	住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている。	弱含んでいる。
	公共投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
	設備投資	大幅に増加した状態が続いている。	大幅に増加した状態が続いている。
	輸出	このところ増加している。	このところ増加している。
生産		横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用・所得		緩やかに改善している。	緩やかに改善している。

2. 個人消費

- 個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、回復している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店売上高	回復している。
	スーパー売上高	底堅く推移している。
	コンビニエンスストア売上高	回復している。
耐久消費財	家電販売	弱めの動きとなっている。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	受注が弱含む中、一部の工場稼働停止の影響も加わり、回復のペースが鈍化している。
サービス	旅行・観光	増加している。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、弱含んでいる。

11月の新設住宅着工戸数は、分譲や持家の減少を主因に前年を下回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、高水準で推移している。

12月の公共工事請負金額は、市町村や独立行政法人等発注分の増加を主因に前年を上回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、大幅に増加した状態が続いている。

11月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を上回った。

6. 輸出

- 輸出は、このところ増加している。
12月の輸出額（九州経済圏）は、前年を上回った。

7. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、横ばい圏内の動きとなっている。

▽主要業種の生産動向

輸 送 機 械	自動車は、一部の工場稼働停止の影響がみられつつも、回復している。船舶は、低水準ながらも、緩やかに増加している。
電子部品・デバイス	在庫調整の影響がみられているが、全体としては高水準で推移している。
汎用・生産用 ・業務用機械	一部に弱含みの動きがみられる。
化 学	一段と弱含んでいる。
鉄鋼・非鉄金属	横ばい圏内の動きとなっている。
食 料 品	弱含んでいる。

8. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。
労働需給をみると、有効求人倍率は高水準で推移している。
10月の雇用者所得総額は、常用労働者数の増加を主因に前年を上回った。

9. 物価

- 12月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年比+2.4%となった。

10. 金融

- 11月の預金残高をみると、法人預金や個人預金を中心に前年を上回った。
- 11月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った。
- 企業倒産は、低水準ながらも、このところ増加している。
12月の企業倒産をみると、件数は前年を上回ったものの、負債総額は前年を下回った。

以 上